

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：工学部デザインコース コンテクスチュアルデザイン研究室

学年：4年

留学先大学名：ミラノ工科大学

現在の学期：1<sup>st</sup> Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	9:15~18:15 EPHEMERAL/TEMPORARY SPACES 1
水	
木	
金	
土・日	

履修科目や近況について

EPHEMERAL/TEMPORARY SPACES 1 は、人と時間の関係に注目し、一時的な空間デザインをする授業です。グループワークで行います。対象地域の中からグループの対象スポットを設定し、その場所を観察し、分析しました。先生からのレクチャーも多く、レクチャーとエクササイズを繰り返し行うため、とても充実しています。最終的には、プロトタイプの作成と3Dモデルの作成を行い、最終プレゼンを行います。

↓フィールドワークの様子



私がとりたかった授業が全て火曜日に集中していたため、この一つしか授業をとることができませんでした。

生活面では、授業でできた友達やルームメイトと美術館に行ったり、旅行したりしています。

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：融合理工学府

学年：1

留学先大学名：パリ・デザイン大学

現在の学期：2 semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	9:30-13:00 Volume
火	9:30-12:30 Drawing 14:00-18:00 Bamboo
水	9:00-13:00 Drawing
木	9:00-12:00 French 14:00-18:00 Bamboo
金	9:00-13:00, 14:00-18:00 Bamboo
土・日	

### 履修科目や近況について

Volume は、各自 1 つ以上の興味深いマテリアルを選び、そのマテリアルが空間に及ぼす影響や空間のボリュームを考える授業です。授業の講義はフランス語ですが、個人ワークの時間がほとんどのため、先生と一対一で英語で議論する事ができます。生徒の中には、興味深いマテリアルとして紙を選んだ人、スポンジを選んだ人、竹を選んだ人、水を選んだ人などがいました。私は、布を選びました。今は、布を使って遊び、色々な形を作り、面白いことを探っています。



地面に布を置いて、捻ってみたり、捻る回数を変えてみたり。



板を使って垂直方向で形を作ったり、できた模様の細かい部分にフォーカスしたり。



箱の上に色々な模様を作って色々な方向からの見え方を考えたり。

このようなやったワークの中で、これから発展させていくと面白そうな方向性を見つけ、次週からは方向性を絞って行こうと思っています。

最終プレゼンは、特に特定のものは要求されておらず、今までやってきたことを見せる、過程やその中で見つけた興味深いことを発表するそうです。

火曜日の Drawing は、スケッチすることを躊躇わないようになるために、小さなエクササイズや長時間かけたスケッチを繰り返して、スケッチの練習するような授業です。私は、今までデザインをしている際に、思考にペンが追いつかないと感じていたことや、スケッチに苦手意識があったため、この授業を受講しました。

初めの3週は、対象物をスケッチする練習をしました。



今は、自分でオリジナルのパターンを作ったり、それらを使って作った物体をスケッチするエクササイズをしています。



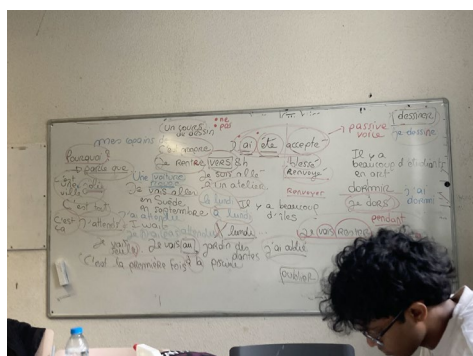
授業はフランス語ですが、全体での説明が終わった後に先生が英語で説明しにきてくれます。

水曜日の Drawing は、毎週パリの色々な場所に訪れ、三次元のスケッチの練習をしています。私は空間デザインに興味があるため、空間のスケッチを練習するためにこの授業をとりました。この授業でも、10分や15分のエクササイズを繰り返した後、少し長めの時間をかけてスケッチをします。この授業は休憩があまりなく、9時から13時まで4時間ぶっ通しでスケッチをするため、かなり数もこなし、鍛えられます。すでに1回目の授業の時よりも短い時間でより正確にスケッチができるようになったこと、スケッチをする事が簡単になったことを実感できています。

今まで、美術館やパサージュ、オペラ座などにも訪れました。



French は、フランス語の授業です。フランスにいる以上フランス語を少しでも理解し、話せるようになりたいと思い、この授業を受講しました。この授業は8人の留学生在が受講しています。生徒によってフランス語のレベルが全く違いますが、少人数クラスのため、先生がそれぞれのレベルを理解し、対応してくれます。この授業はとてもテンポが早く、また回を重ねるごとに授業内容が難しくなるため、毎回ついていくことに必死です。



前回のクラスで、私はフランス語でのプレゼンも行いました。この授業は4月末までの授業なので、今は最終試験のために勉強を頑張っています。

Bamboo は、火曜日の午後、木曜日の午後、金曜日は一日中あり、一番大きな授業です。Atelier de project というカテゴリーで、ENSCI が外部のデザイナーとパートナーとなり、そのデザイナーの授業を受けます。他の Atelier de project の中には CHANEL や Hermes の授業などもありとても魅力的でしたが、全てフランス語の授業だったため、私は唯一英語の授業である Bamboo の授業を選びました。この授業は、竹の性質や面白いことを探り、今までにない竹を使った何かを作る授業です。最終成果物は、家具やプロダクトではなく、竹に見えないが竹を使った今までにない新しいものである必要があります、それはどんな機能でも、どんな形でも、何と組み合わせてもいいというとても自由な授業です。

私は、1週目に、色々な工具を使って竹を切ったり削ったり砕いたりし、とにかく竹に触

れて色々なこと試してみました。



その中でも、私は、竹を捻るとその形が形状記憶させたことが面白いと思い、TWIST をテーマに、ワークをしています。



色々な長さ、太さの竹を使い、また捻り方を変えてみたりしました。色々なことを試していく中で、捻った竹を接着剤で一つにまとめてみたところ、同じ太さの普通の真っ直ぐの竹よりもとても強度があり丈夫な竹ができました。私はこのことに着目し、今度はもっと長いバージョンや太いバージョンを作ってみようとしています。